

青森県和牛改良方針の概要

○ 種雄牛造成の方向性

市場性の高い子牛を生産するため、県及び地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所が、全国和牛登録協会青森県支部や県内の和牛改良組合等の協力を得ながら、受精卵の利用や遺伝子解析等の新技術にも取り組み、効率的に種雄牛造成を進めます。

- ・ 青森県の遺伝的資源を維持しつつ、肉質と増体のいずれかに秀でた種雄牛造成をバランスよく進める。
- ・ 県内繁殖農家が飼養する多様な血統に対し、近親交配を回避するため、系統の育種を意識した種雄牛を造成する。

○ 繁殖雌牛の基盤整備

本県独自の系統である「第1花国」系をはじめとして、田尻系及び気高系の三大系統がバランスよく飼養されている強みを生かし、本県独自の繁殖雌牛の基盤整備を行います。

○ 種雄牛の産肉能力に関する改良目標

これまで行われてきた改良状況を踏まえ、目標を設定して改良を進めます。

また、遺伝子解析等の情報を取り入れながら、脂肪酸組成等の新たな指標についても、改良を進めていきます。

(産肉形質の目標数値：去勢)

産肉形質	H10	H15	H20	H25	H30	R10(目標)	
						目標値	シグマ
枝肉重量(kg)	424.7	446.6	470.9	480.8	505.8	539.1	+0.67 σ
ロース芯面積(cm ²)	52.0	53.5	55.6	57.4	61.9	69.4	+0.67 σ
バラの厚さ(cm)	7.4	7.6	7.7	8.0	8.0	8.5	+0.67 σ
皮下脂肪厚(cm)	2.2	2.1	2.1	2.1	2.3	2.3	現状維持
歩留基準値(%)	73.8	74.0	74.0	74.3	74.4	76.1	算出による
脂肪交雑(BMS)	5.6	5.4	5.9	5.8	6.3	7.4	+0.33 σ
上物率(%)	48.1	48.9	55.9	58.2	67.8	80.0	—
5等級率(%)	19.2	16.6	22.7	17.9	27.2	40.0	—

○ 繁殖雌牛の体型に関する改良目標

繁殖や泌乳・哺育能力に優れ、強健で飼いやすいことに加え、公共牧場等における粗飼料の利用性や放牧適正に優れた繁殖雌牛の基盤を整備します。

体型に関する目標値は、国の家畜改良増殖目標値に準じつつ、繁殖能力と関連のある均称、品位、資質などの種牛性評価に配慮した改良も行います。